

メモリアルデー特別集会

メッセージアウトライン

2010年5月28日—31日

主題：神の永遠の定められた御旨を完成するための生活をする

2010年メモリアルデー特別集会のための標語

わたしたちが神の永遠の定められた御旨を完成するためには、

神の大いなる喜びのために、
神の中心思想を知る必要があり、
神の中心的な働きと協力する必要があり、
神聖なロマンスの中に生きる必要があります。

わたしたちは神の永遠の定められた御旨を完成するために、

神を食べて神を享受する必要があり、
神のみこころを知って、それを行なう必要があり、
神のエコノミーの中で神の恵みによって生きる必要があり、
命と実行においてからだを認識する必要があります。

わたしたちは神の永遠の定められた御旨を完成するために、

ミングリングされた霊にしたがって歩かなければなりません。
それは主の御名を呼び求め、彼の生ける言葉を祈り読みし、
絶えず祈り、その霊を消さず、預言を軽んじないことによってです。

わたしたちは神の永遠の定められた御旨を完成するために、

献身、朝ごとの復興、牧養の生活をしなければならず、
福音の祭司職を実行しなければならず、
バイタルグループを建て上げなければなりません。

神の中心思想を知り、神の中心的な働きと協力し、神聖なロマンスの中に生きる

聖書：マタイ 16:16, 18. エペソ 5:32. 3:16-17 前半. ガラテヤ 4:19. 雅 1:2-4

I. 神の永遠の定められた御旨を完成するための生活をしようとするなら、わたしたちは神の中心思想を知る必要があります——創 2:9-12, 18, 21-23. 啓 21:2 :

A. 神の中心思想とは、召会を通してキリストを神の表現として持つということ——コロサイ 1:15. ヘブル 1:3. エペソ 1:22-23. 3:21 :

1. 神の中心思想とは、キリストが召会を彼のからだ、彼の花嫁、彼の増し加わり、彼の配偶者として持って、団体的にキリストを表現しなければならないということです。全聖書の中で、これほど中心的で、重要で、重大なことはありません——マタイ 16:16, 18. エペソ 1:22-23. 5:32。

2. 神の中心思想とは、キリストをわたしたちのすべてとし、わたしたち、キリストのからだ、キリストの中で神の団体の表現となることができるということ——コロサイ 3:11 :

a. 神の意図は、キリストが彼の選ばれ贖われた人の中に造り込まれて、彼らの命となり、彼らを団体の表現として、神がキリストの中で彼らを通して表現されること——エペソ 3:16-21。

b. 神が渴望しているのは、一組の人がキリストとミングリングされ、キリストのかたちへと造り変えられ、キリストの中で共に建造されて団体のからだとなり、キリストを内容としキリストを表現するということ——ローマ 8:16, 12:1-2, 4-5。

3. 神の表現としてのキリストと、キリストのからだとしての召会が、神の中心思想を構成します。これは宇宙における最大の奥義です。もしわたしたちがこの奥義を理解しないなら、宇宙の意義もわたしたちの人生の意義もわからないでしょう——エペソ 5:32. 啓 4:11。

B. 神聖な思いの中心思想は、わたしたちが神を入れる生ける器として、神をキリストの中でわたしたちの命また命の供給として受けるべきであるということ、わたしたちが造り変えられて金、真珠、宝石となる必要があるということ、わたしたちが共に建造されて生けるからだとなり、生ける配偶者として、キリストにふさわしくならなければならないということ——創 2:9-12, 18, 21-23. 啓 21:2, 9-12, 18-21. 22:17。

II. 神の永遠の定められた御旨を完成するための生活をしようとするなら、わたしたちは神の中心的な働きと協力する必要があります——ローマ 12:1-2. ガラテヤ 4:19 :

A. 聖書の支配するビジョンとは、三一の神がご自身を彼の選ばれ贖われた人の中に命として造り込み、彼らの全存在に、神聖な三一をもって浸透し飽和するということ——Ⅱ コリント 13:14. ローマ 8:10, 6, 11. エペソ 3:19。

B. 神の新約エコノミーとは、手順を経て究極的に完成された三一の神がわたしたちの中に造り込まれて、わたしたちの命、存在、パースンとなり、わたしたちが彼の団体の表現となるということ——16-17 節前半. 1:22-23 :

1. 神の永遠の定められた御旨とは、ご自身をわたしたちの中に命またすべてとして造り込んで、わたしたちが彼をわたしたちのパースンとし、彼を生き彼を表現するということ——9 節. 3:11. ガラテヤ 1:15-16. 2:20. 4:19. ピリピ 1:20-21 前半。

2. 神の意図は、キリストが徹底的にわたしたちの存在の中に造り込まれることです。しかしながら、わたしたちは霊的な追求の中で、このことに関心がなく、むしろ

自分の意図を顧慮しているかもしれません——ガラテヤ 4:19. ピリピ 2:21。

C. 神の新約エコノミーは、彼の中心的な働き、彼の唯一の働きに焦点づけられています——ヨハネ 5:17. 4:34. ピリピ 2:13. I コリント 15:58. エペソ 3:16-17 前半：

1. 宇宙における神の中心的な働き、唯一の働きは、キリストの中でご自身を彼の選ばれ贖われた人の中に造り込んで、ご自身を彼らと一にすることです——ガラテヤ 4:19. エペソ 3:17 前半。
2. 神の定められた御旨は、ご自身をわたしたちの中に造り込み、ご自身を彼の神聖な三一の中で、わたしたちの内側の要素とすることです。この定められた御旨は宇宙の中心であり、この定められた御旨を離れるなら、クリスチャン生活に意義はありません——啓 4:11。
3. わたしたちは神の中心的な働きのために献身の生活をし、神の中心的な働きの中で神と協力する人となる必要があります。そのような人は霊の中で貧しく、心が純粹であり、彼の内容としての三一の神をもって進んで満たされようとしませう——ローマ 12:1-2. II テモテ 1:7. マタイ 5:3, 8. エペソ 3:16-19。

III. 神の永遠の定められた御旨を完成するための生活をしようとするなら、わたしたちは神聖なロマンスの中に生きる必要があります——雅 1:2-4：

- A. 最も純粹で、最も聖なる意味で、聖書は宇宙的な夫婦のロマンスです——キリストにある神は花婿であり、神の贖われた人は花嫁です——ヨハネ 3:29. マタイ 25:6. 啓 19:7. 21:2, 9-10. 22:17。
- B. 雅歌は驚くべき生き生きとした絵であり、詩の形式で、花婿としてのキリストと、花嫁としての彼の愛する者の新婚の愛を描いています。雅歌の主題とは、素晴らしい結婚における愛の歴史が、個別の信者のキリストとの愛の交わりにおける進展する経験を啓示するということです。それは、引き寄せられ追い求める段階 (1:2-4)、十字架を経験する段階 (2:14)、天で生活して、復活の中で神の新創造となる段階 (4:8)、聖なる所、すなわち至聖所となる段階です (6:4)。
- C. 愛だけが、わたしたちを主との正しい関係に保つことができます——マルコ 12:30：
 1. 人が愛するものは何であれ、彼の心全体、彼の全存在さえ、その上に置かれ、それによって占有され所有されます——I テモテ 6:10. II テモテ 3:2-4. 4:8, 10 前半。
 2. わたしたちは主の権益のために、主の方法、味わい、意図、目標にしたがって主を愛すべきです——マタイ 16:18. エペソ 4:16. 啓 19:7-9. 21:2, 10-11. 22:17。
 3. わたしたちと結合し、ミングリングし、合併することを神に渴望させるのは、神の中にある愛です。神と結合し、ミングリングし、合併することをわたしたちに渴望させるのも、わたしたちの中にある同じ愛です——I ヨハネ 4:8, 16. ヨハネ 14:20, 23。
 4. わたしたちが主を愛するのは、彼がまずわたしたちを愛し、彼の愛の本質をわたしたちの中に注入し分与して、わたしたちの内側に彼を愛する愛を生み出すからです——I ヨハネ 4:19. ローマ 5:5. 8:35, 39. 15:30。
 5. わたしたちは主に対する初めの愛を維持し発展させるために、彼の御前に生き、器として彼に開き、彼を愛し、彼を受け入れ、彼を享受し、彼で満たされ、彼にわたしたちのすべてとなっていていただき、わたしたちの中で、わたしたちを通して、わたしたちと共に、すべてのことを行なっていていただき、神の永遠の定められた御旨を完成する必要があります——啓 2:4. II コリント 4:7. ローマ 9:21, 23. エペソ 1:9. 3:9-11。